

みやけの風

第 256 号

平成18年(2006年)1月21日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

みんなの声

『みやけの風』休刊に寄せて

『みやけの風』に携わって5年余り。毎週土曜日の編集作業が、生活の一部として、何時しか溶け込んできていました。

私自身、まだ、三宅島に行ったことがありません。実際に行って、体を張って支援活動を行う仲間たちに対し、心のどこかで羨ましく思っていました。もちろん、私以外にも、仕事や家庭、あるいはタイミングの問題で活動したくてもできない人がたくさんいると思います。そんな中、情報紙の発行という別な形で支援に関わってこれたことは、私の人生の中でも掛替えのない経験ができたと思います。

人からは「毎週なんて大変だね」とも言われますが、避難から帰島まで様々な「思い」に触れさせていただき、私自身大変と感ずることはありませんでした。そして何よりも、寄稿して下さる方々、毎週楽しみに読んでいただく方々に支えられ、続けてこられたのだと思います。そしてそれにもまして、『みやけの風』という、このニュースのタイトルが、みんなの心に届くネーミング、強い名前だったのではと思います。

最後に、私自身もこの5年の間に家庭を持ち昨年子供に恵まれ、最近では、息子を膝にだきながらの編集作業スタイルとなりました。息子がもう少し大きくなったら、是非、家族で三宅島におじゃましたいと思ひます。長い間、本当にありがとうございました。

(連合東京ボランティア・サポート・センター 村松 一人)

心からの感謝をこめて

長いことお世話になりましたが、避難解除後1年を迎える今月末を持ちまして『みやけの風』の配信をいったん終了させていただくこととなりました。

2000年10月23日に第1号を発行して以来、本当にたくさんのごがありました。

原稿依頼の無理なお願ひに快く応じてくださったり、また、回覧や印刷をして地域で配っていただいたり、なにより、毎号楽しみに読んでくださって、FAXが来ないと『どうした～?』と心配して下さった方々、『間違ってるぞ～』と掲載記事の間違ひをご指摘いただいた方々が支えて下さったからこそ発行が続けてこられたのだと思ひております。また、この5年間、毎週の発行をともに続ける意義を分かちあつた仲間もわたしにとって宝となりました。

この『みやけの風』は、三宅島の皆さまを応援する思いをお伝えしたいと発刊したのですが、皆さまからの『声』によって、互いに励ましあい三宅島の絆をつなぐお手伝ひができたのなら、望外の喜びです。

来週号をもって、毎週土曜日のFAX配信はお休みになりますが、三宅島災害・東京ボランティア支援センターは、今後も『みやけじま<風の家>』を中心に、三宅島の皆さまともに歩んでいきたいと思ひております。

本当にありがとうございました。

(三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 みやけの風担当 ウラベノリコ)

～ みやけじま 「風の家」 より ～

1月17日

新しい年がスタートしました。「風の家」も新年10日から開設を始めました。しばらくぶりに会う「風の家」の皆さんは、お正月の間東京に上京されたり、島でのんびり過ごしたりとお正月の様子を話されています。島で過ごした方からは、「寒かったねえー」「船祝いにいつてきたよ!」「寝正月だった」などなど、お正月の過ごし方は様々です。ただ風邪をひいたり、体調を崩した方は一人もおられず、みんなで元気に新しいスタートを迎えました。寒いながらも「風の家」ではあたたかくやさしい時間が流れはじめています。

そんな中、遠く新潟県で大雪の為に大変な思いをされている皆さんへ「本当に大変だと思うよ～」と気持ちを向けています。自然災害を経験した皆さんだからこそ、心からの心配をする声が聞かれます。

2月には、避難指示解除から1年を迎えます。今年も島の皆さんと一緒に引続き、過ごしてまいります。



武道始め 開催のご案内

三宅島柔道連盟、三宅島剣道連盟では、帰島して初めて、6年ぶりに合同で武道始め式を開催することになりました。皆さまに是非子供たちの元気で気合の入った姿を見ていただきたいと思っております。

避難前は各地区で鏡開きをかねて行ってきましたが、今回は1箇所です。合同で行います。まだまだ子供たちの人数は少なく、昨年11月に稽古を再開したばかりでほとんどが初心者ですが、それぞれが元気に稽古に励んでいます。

三宅島警察署のご協力のもと、各地区指導員、保護者、各連盟関係者が心をつなげて、三宅島にまた柔剣道を根付かせ、これからの三宅島を担う子供たちを育てていこうと思っております。

多くの方にご来場いただき、大いなる励ましをいただければと思います。

日時：平成18年1月22日(日) 9:30～13:30

場所：三宅島勤労福祉会館(体育室)

式次第：開会式 剣道演舞 柔道演舞 閉会式

テレビ東京『田舎に泊まろう』に 清漁水産 登場！

東京12チャンネルで日曜夜7時から放送されている番組『田舎に泊まろう』に、神着のクサヤ製造『清漁水産』が登場します。芸人が、媚込みでその晩泊めてくれる家を探してお世話になり、そのお返しにお手伝いをするという番組です。今回は、お笑い芸人パッション屋良さんがヘリポートから島に入り、道行く人に泊めてくれそうな家を探るところから始まります。

放送日：平成18年1月22日(日) 19:00～20:00(清漁登場は19:30～)

番組名：『田舎に泊まろう』 テレビ東京(12チャンネル)

心に残る三宅島の自然

写真展「富士箱根伊豆国立公園の自然」のご案内

昨年11月末、私ども写真同好会の仲間有志で、4月に渡島が許された噴火後の三宅島を訪ねました。私どものクラブでは、噴火前の1998年5月、自然環境に恵まれた三宅島を訪ね、「三宅島の自然」をテーマに写真展を開いた経緯がございます。

その2年後、思いもよらぬ雄山の噴火により、島は全島避難の災害を受け、島民皆様の安否と4年余に亘る閉ざされた島の様子を懸念しておりました。昨年4月、雄山の噴火も徐々に沈静に向い、渡島許可の出たのを機会に有志で島を訪ね、噴火後の様子を限られた範囲でカメラに収めて参りました。

(中略)

自然環境の回復、整備には世代を超えた永い刻、島に生活する島民皆様の知恵と支えが欠かせず、全島復帰が叶う日を願う思いです。この度の写真展が三宅島への関心を高め、一人でも多くの方を島へ誘う機会になれば嬉しく存じます。

かかる思いでこの度、下記の予定で開催します写真展に、三宅島の一角を設け、噴火前後を写した作品を展示致します。ご関係の方々にも吹聴頂き、ご高覧賜れば有難く存じます。

平成18年1月14日

武蔵野自然クラブ代表 武内 信之

日時：平成18年1月24日(火)～2月5日(日) 午前9時から16時30分

最終日は15時まで 休館：30日(月)

会場：新宿御苑インフォメーションセンター

アートギャラリー(新宿御苑新宿門隣り)

：03-3350-0151

主催：武蔵野自然クラブ

共催：環境省新宿御苑管理事務所

問い合わせ：042-377-4931(武内)

